# 会　　議　　録

<table>
<tr><td>会　議　の　名　称</td><td colspan="4">平成２７年度第４回小川町地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td>開　催　日　時</td><td colspan="4">平成２８年３月２５日（金）<br>開会時刻　午後２時００分　　閉会時刻　午後３時００分</td></tr>
<tr><td>開　催　場　所</td><td colspan="4">小川町役場　３階　大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="11">出　席　者</td><td>役職名</td><td>氏名</td><td>役職名</td><td>氏名</td></tr>
<tr><td>会長</td><td>尾崎　晴男</td><td>監査委員</td><td>山岸　幸男</td></tr>
<tr><td>監査委員</td><td>小久保　文雄</td><td>委員</td><td>山﨑　浩司</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>石川　浩行</td><td>委員</td><td>宮﨑　信二</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>堀米　康史</td><td>委員</td><td>長南　克幸</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>柳田　祐之(代理)</td><td>委員</td><td>神原　正夫</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山口　勝士</td><td>委員</td><td>田端　健二</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>村上　紀子</td><td>委員</td><td>髙野　寿久</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>田代　忍</td><td>委員</td><td>小澤　禄郎</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>安野　育男</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>会　議　の　議　題</td><td colspan="4">(1)　小川町地域公共交通網形成計画（最終案）について<br>(2)　小川町地域公共交通活性化協議会会議運営規程の一部改正について（案）</td></tr>
<tr><td>会議の公開又は非公開の別</td><td colspan="4">公開</td></tr>
<tr><td>会議の非公開の理由</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td>傍　聴　人　の　数</td><td colspan="4">22 名</td></tr>
<tr><td>発　言　の　内　容</td><td colspan="4">別紙「発言の要旨」のとおり</td></tr>
<tr><td>会　議　資　料</td><td colspan="4">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>事　務　局</td><td colspan="4">都市政策課 都市政策担当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">議事の確定</td><td>確定<br>年月日</td><td colspan="3">平成　２８　年　４　月　１５　日</td></tr>
<tr><td>記名<br>押印</td><td colspan="3">役職名<br>会長　　尾崎　晴男　　㊞</td></tr>
</table>

別　紙

| 発言者 | 発言の要旨 |
|---|---|
| 尾崎会長 | 年度末のお忙しい中、お集まり頂き御礼申し上げたい。今回の会議では前回の協議会で議論して頂いた計画素案に対し、会議での意見やパブリックコメントでの意見等を踏まえて最終的な案として取りまとめている。今回は今年度最後の協議会となっているため、会議の中で更にご意見を賜り、良い計画にしていきたいと考えている。 |
| 事務局 | 本協議会は原則公開としており、傍聴者の定員を 10 名とし、所定の方法で協議会開催の事前公表を行ったところ、本日は 22 名の傍聴希望者がいらっしゃっている。尾崎会長の許可を頂き、入室させたいと思うがよろしいか。 |
| 尾崎会長 | 定員は超過しているが、全員の方に入室頂くこととするがよろしいか。 |
| 一同 | 承認。 |
| | **(1)　小川町地域公共交通網形成計画（最終案）について** |
| 山口委員 | パブリックコメントの中でも関心度が高く、特にたくさんの意見が寄せられていたのがデマンド型交通についてだと思う。<br>資料 2：「地域公共交通網形成計画」のパブリックコメント意見と町の考えの 3 頁では、パブリックコメントの意見を受けて「公共交通空白地域等」に修正されている。デマンド型交通をどの地域で実施するのかということはこれからの重要なポイントになるということで、「等」が追加されたものと考えている。一方でバス路線も重要な公共交通であるということがこの会議の中で確認されている。<br>デマンド型交通とバス路線の 2 つを具体的な計画の中にどう入れていくかということは今後の重要な論点になると思う。「等」を追加するにあたってどのような議論があったのかを教えて頂きたい。 |
| 事務局 | 庁内会議の中で、新しい公共交通機関としてデマンド型交通を導入した際には、路線バス等の既存の公共交通機関に影響が出るだろうという意見があった。今の段階でどの程度影響が出るのかを明確にすることができない中で、来年度はデマンド型交通導入に向けた実証実験の実施を考えている。それによって路線バスにも影響が出てくるのか等が見えてくるのではないかと考えている。<br>また、デマンド型交通の導入に際しては各地区での説明会の開催を考えており、本計画について、デマンド型交通の導入について、路線バス等の既存の公共交通機関の利用促進について等の柱となる事項の説明をしていきたい。既存の公共交通機関に対しては影響が少なくなるような対策を取っていきたいと考えている。 |
| 山口委員 | これまで公共交通機関が不便なのでデマンド型交通を導入してほしいという要望があったが、一方では既存のバス路線をどのように活発にしていくのかという視点が町側にも住民側にも欠けていたように思う。各地域で説明会を実施するとのお話があったが、その際にも既存の公共交通機関の維持という観点をしっかりと住民の皆さんに提示し、デマンド型交通の導入と既存バス路線の維持の両方を活発に議論していくことが重要である。<br>先日、東小川地区の住民の方々と意見交換をする機会があった。その際にもバスの不便さ等に関する意見が出されていた。私の方からはバス路線を維持するためには地域でも色々なことを考えていかなければならないと提案させて頂いた。町が一方的に「バスが重要だ」と言っていてもなかなか住民の方々の気持ちの盛り上がりにはつながっていかないため、路線を維持するためにバスを使うといった意識の醸成も重要であると思う。 |

別　紙

| | |
|---|---|
| 尾崎会長 | 鉄道、バス、タクシーは地域の財産であり、それを発展させることは重要であると思う。何もしなければ発展はしない。 |
| 石川委員 | 少しだけ補足させて頂きたい。<br>埼玉運輸支局としても、一番気にしているのは公共交通網の将来的な維持・発展である。今の段階でやりたいことを何でも盛り込んでしまうと、首が絞まり長続きしなくなってしまうことが懸念される。費用負担を考慮しつつ、将来に渡って公共交通網を維持していくことが重要である。<br>以前トリガー方式についてご紹介をさせて頂いたが、始めるきっかけや、やめるきっかけ等、様々なトリガーがある。利用する人が増えてきたら実施する、利用する人がこれだけ減少したら廃止する等がトリガーの意味合いである。そのため、住民の皆さんにどれだけ利用してもらえるかが重要である。別の自治体の地域公共交通会議では、住民１人が年間何回バスに乗れば維持できるのかという具体的な見込みの数字を提示している。それを踏まえた上で、やはり将来的に公共交通網は必要となった時に盛り上がっていくものと思う。 |
| 尾崎会長 | 他にご意見が無ければこの最終案は承認ということで良いか。 |
| 一同 | 承認。 |
| | **(2)　小川町地域公共交通活性化協議会会議運営規程の一部改正について(案)** |
| 尾崎会長 | 異存がなければ次回よりこの運営規程を採用したいと思うがよろしいか。 |
| 一同 | 承認。 |
| | **※その他** |
| 事務局 | ～　小川町地域公共交通活性化協議会　平成 28 年度の取組み（案）の説明　～ |
| 石川委員 | 次年度は本計画を踏まえ、再編実施計画を作っていくことになる。参考資料では平成 28 年度下旬で公共交通再編実施計画の作成を行うスケジュールとなっているが、少し時期を前倒しして具体案を練っていった方が良いと思う。国交省の本省の方からも修正指示等が来ることが想定されるため、早め早めにやりたいことを明確にしていく必要がある。 |
| 尾崎会長 | それではこれで議事を終了させて頂く。 |
| 事務局 | 最後に報告事項がある。次回の協議会はリリックおがわ２階会議室 4 月 21 日（木）10：00～を予定している。開催通知は改めて郵送させて頂く。 |
| 村上委員 | せっかくの機会なので高齢者と弱者のために感じていることを申し上げたい。<br>バスに乗車する際、バス停とバスの間の隙間が空いていることがある。足の悪い方は一度歩道から車道へ降りてバスに乗り込まなくてはならないため、非常に大変であるという声が出ている。段差があると苦労する人がいるため、よい工夫等があれば助かる。 |
| 尾崎会長 | 事業者だけでなく、道路を整備する行政も一緒に改善していくことが重要であると思う。 |
| 事務局 | それでは本日の協議会はこれで散会とさせて頂く。 |
| | 以上 |